

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2007年12月20日 No.21

原爆症
認定

検討会「まとめ報告」に抗議!

厚労省の「原爆症認定の在り方に関する検討会」が12月17日に発表した「報告」を受け入れることが出来ないとして東京都原爆被害者団体協議会(東友会)は18日、厚労省前で「被爆の実態にそった制度の抜本改正を!」と求める抗議行動を行いました。

全国原告団長の山本英典さんは、「被爆の実態が数量化できるというのに怒っている。原爆被害はたいしたことないというメッセージを世界に発するような日本政府の態度に、徹底的にたたかっていく」と力強く話しました。行動には神奈川、千葉の被爆者団体、弁護士、支援者あわせて90人以上が参加し、次々とマイクを握って怒りの声をあげました。

来年1月28日に結審を迎える北海道では、原爆訴訟弁護団と訴訟支援連絡会が18日、札幌市内の司法記者クラブで抗議の記者会見を行いました。北海道原爆訴訟原告団長の安井晃一さんは、「怒りの前にあきれってしまった。国民保護法で核攻撃には雨ガッパを着て、マスクをして、風上に逃げろと支持する国。いかに科学的知見で作ったと言えるのか!そういう思いで怒りがますます大きくなりました。原爆投下による被害の状況を明らかにするため、一生かけてたたかっていきます」と表明しました。



厚労省に向けて「被爆の実態にそった制度の抜本改正を!」と声をあげる参加者(12月18日、東京・霞ヶ関)

岡山 県被爆者会に支援募金贈呈



岡山県原水協は17日、岡山県被爆者会に「被爆者援護・連帯募金」を贈呈しました。県被爆者会の妹尾要会長と平末豊副会長(岡山市被爆者会会長)が受け取られました。県原水協中尾代表理事は「わずかな金額ですが被爆者会の活動のお役に立てばと思います」と妹尾会長に手渡しました。妹尾会長は「県内2500人の被爆者手帳所持者も高齢化が進み、後継問題を抱えています。県の助成も年々削減され活動に支障をきたしています。ありがとうございました活動に役立てたい」と話されました。

群馬・前橋原水協 母親連絡会と共同で6・9行動

前橋原水協は12月8日、前橋駅北口で午後1時半から1時間、6・9署名行動を行いました。この日は太平洋戦争開始の日でもあるため、前橋母親連絡会の「『赤紙』配布行動」と共同で行い、24人が参加しました。

戦争を体験したご婦人が快く署名してくれたり、アメリカ、フィリピン、エジプト、ネパールの外国人も英語版の署名を示すと「オーケーオーケー」とサインをしてくれました。中学生・高校生の反応もとても良く、1人で35筆を集めた人もいました。この行動で「すみやか」署名が187筆寄せられました。

今回は新年最初の行動として1月13日に成人式署名に取り組む予定です。前橋原水協は初めての会場となるグリーンドームへの下見等の準備を整え、加盟団体に大勢の参加を呼びかけています。

ちひろカレンダー

本日の注文、東京129、大阪25、広島10、山口25、香川10本、奮闘づく!

前年比5%〜10%を必ずやりとげよう

3・1ビキニデーカラーチラシ完成! 積極的な活用を